

発災後の3日間を乗り切る。

内閣府政策統括官が提示している物資調達の見方は、「発災後3日までは備蓄で対応する」です。

3日間を乗り切るために「防災備蓄用品の見直し」はいかがですか？

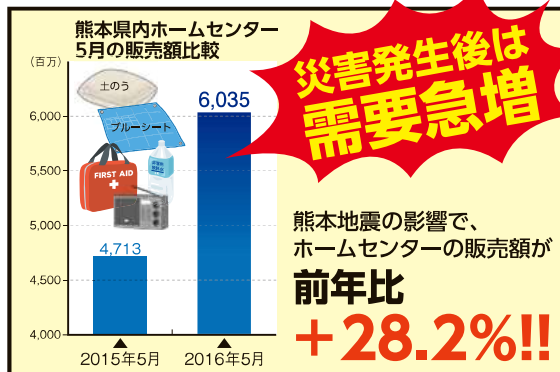
台風や地震などの災害が発生したとき、ブルーシートや土のうのような**防災備蓄用品**の需要は急速に高まります。

災害発生時に、防災ブルーシートや土のうは、火災や浸水などの二次災害を防ぐ役割を果たします。また、ブルーシートは足元に敷くだけでなく、雨水から**資材を守る屋根**の代わりや寒さから**身体を守る防寒具**代わりとしても活躍します。

平常時であればすぐに手に入る防災備蓄用品も、交通網の麻痺などが起こりやすい非常時には、手に入れることが難しくなります。

過去、2017年の台風18号や2016年の熊本震災などの災害が発生した時には、ブルーシートや土のうのような防災備蓄用品の需要が高まり、出荷量が増加しています(当社比)。

備えあれば憂いなし!もしもに備えて**防災備蓄用品の備蓄の見直し**をしてみたいはかがでしょうか？



出典：九州経済産業局ウェブサイト (<http://www.kyushu.meti.go.jp/index.html>)
【参考】専門量販店販売額等推移表 (九州経済産業局) (http://www.kyushu.meti.go.jp/keiki/3_store.html) をもとに作成

災害時の強い味方!! ブルーシート・土のうの活用例

避難所のスペースの確保に



損壊した屋根の応急処置に



浸水などの二次災害防止に



ご存知ですか? “土のうステーション” 首都圏を中心に全国に広がりつつあります。



土のうステーションとは、台風などの大雨のときに地域の方々が自由に使える土のうの置き場のことです。

土のうステーションの中には、あらかじめ土が詰められた土のうが入っており、取り出してすぐに使用できるようになっています。

温暖化の影響で、大雨や短時間に降る強い雨は、今後もさらに増加すると予測されており、台風や豪雨による災害発生リスクが高まっています。

まだ導入していない場合は、地域の皆様の安全・安心のためにもぜひご検討ください。

～あなたの近くにきつとある～

HAGIHARA
萩原工業株式会社
<http://www.hagihara.co.jp>

萩原工業は、ブルーシートの国内トップメーカーです。
[信頼の国産] [高品質] [小ロット対応] [大ロット対応]
の製品を揃え、地域の安全に備える皆さまをサポート。
危機管理・災害対策・防災用に**ブルーシート・土のう・防災シート**などを多種類ご用意しております。

詳しくは同封の「防災備蓄カタログ」をご覧ください。→



■ご注文・ご検討・お問い合わせ先
▼担当者の名刺です。取り外して保管できます。

「防災備蓄カタログ」を
見たことをお伝えください。

本社・合成樹脂事業部 ターピー部
〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
TEL.(086)440-0811

萩原工業 検索